

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行します。

学校運営協議会 活動例を紹介!

6月21日（金）に実施した学校運営協議会設置校研修で、学校運営協議会の活動例を紹介しました。

平成30年度に4つの協議会が行った活動は、参加者の興味を引くものでした。

伊勢山小学校

子ども主体の周年行事を応援

40周年行事、子どもが主役となる式典を実施するために、学校運営協議会が調整を進めた。



富士見台小学校

学校運営協議会に子どもたちが参加

運動会のテーマを学校運営協議会の委員へ直接説明して、地域の方への協力を呼び掛けた。



本郷台小学校

地域からの要望に対応

会長と学校長の連名で、放課後の子どもたちの過ごし方について、協力をお願いする便りを配付した。



潮田中学校ブロック

委員の専門性をいかした研修を実施

ブロックのテーマである“子どもたちの自立”について、委員が教職員や地域に向けた研修会の講師を務めた。



4つの学校運営協議会の活動は、どれも子どもたちのため、学校のためになる大変有意義な活動でした。では、これらの活動が展開されるためにはどんなことが必要なのでしょう？
様々なことが考えられますが、学校教育目標や教育活動のねらいを、学校と地域が共有することが重要だと考えられます。皆さんの学校では、目標の共有が図られていますか？

※研修資料は、「横浜市 学校・地域連携推進」を検索していただくと、横浜市 HP よりダウンロードできます。

【教職員対象】「地域と学校の連携・協働に関する研修」の報告

5月17日（金）と22日（水）の2日間、教職員対象の「地域と学校の連携・協働に関する研修」を開催しました。これは、地域と学校の連携・協働の推進に向けて、「学校運営協議会」「地域学校協働本部」が両輪として一体となって活動を進めていくことの周知や、各校における今後の方向性や取組を明らかにしていくことを目的とした研修でした。2日間合計で管理職の方々や地域連携担当職員の先生方が約130名参加しました。グループ協議では、とても活発な意見交換がされていました。

<主な内容>

○横浜市における「学校運営協議会」「地域学校協働本部」の両輪での推進について
(学校支援・地域連携課より)

○グループ協議 「現在の自校の地域と学校の連携・協働の様子」
「自校の地域と学校の連携・協働の今後の方向性」



<アンケート結果>

Q 「学校運営協議会と地域学校協働本部両輪での推進について理解できましたか？」

理解できた	98%	・地域と学校の連携・協働に関する知識が深まり、課題等が明らかになった。
まあ理解できた		・立ち上げ方を具体的に知ることができ、これからやることが明確になった。 ・各組織について、はっきりとしたイメージが持てないでいたが、今回の研修を通してより具体的なイメージを持つことができた。
理解できなかった	2%	・必要性を全く感じなかった。

Q 「これからの課題は何ですか？」

- ・人材の発掘や選考
- ・地域との目標の共有
- ・管理職と教職員の設置の目的や役割、意義等の情報共有
- ・学校の負担が増えるのでは？という不安



<今後の研修予定>

※場所：花咲研修室

○Yokohama 地域学校協働活動フォーラム 9月19日（木）

○地域と学校の連携・協働に関する研修 〔東・南〕1月14日（火）〔西・北〕1月16日（木）

※研修資料は、「横浜市 学校・地域連携推進」を検索していただくと、横浜市 HP よりダウンロードできます。

学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)養成講座

教育委員会では、地域と学校の連携・協働を推進するために、学校と地域を繋ぎ、総合調整を行う「学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)」の養成講座を開催しています。本講座は、推薦元の学校で学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)として活動することを目標にプログラムを組み、年間5回の講座を行っています。6月10日(月)に第1回の養成講座が開催され、今年度は142名(新規校47校)の方が受講しています。



<1回目の主な内容>

- 「地域とともに子どもを育む学校づくり」 ～学校・地域コーディネーターの役割と意義～
(学校支援・地域連携課より)
- 子どもの人権について (人権教育・児童生徒課より)
- ワークショップ 「活動をスタートするためのポイント」



<アンケート結果>

Q 「学校・地域コーディネーターの役割について、理解できましたか？」

理解できた	99%	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの活動をベースに進める事で対応できると理解した。 ・役割や意義が分かり、不安がやる気になった。私の生きがいになりそう。 ・何ができるか不安だったが、学校の実態に合わせた活動と聞き、活路が見えた気がした。 ・役割は理解できたが、実際どんな活動をするのか具体的に思いつかない。
まあ理解できた		
あまり理解できなかった	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・記述なし。

Q 「本日の感想は？」

- ・難しく考えないでできることをやってみようと思った。PTA・ボランティア活動の経験を生かしていけばよいと感じた。
- ・不安があったが自分にできることを探して、子どものためにがんばりたい。
- ・相手のニーズにあった活動をし、地域とともに子どもを育む学校づくりに積極的に参加していく。

本年度の募集はすでに終了していますが、第3期横浜市教育振興基本計画において、令和4年度末までに学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の全校配置を目標に掲げておりますので、未配置の学校におかれましては、次年度以降、積極的にご検討をお願いいたします。



「Yokohama 地域学校協働活動フォーラム」開催のお知らせ

＜日時＞ 令和元年9月19日（木） 花咲研修室2階（研修会、交流会） 3階（見本市）

◇13:00～ 地域の方々の研修会 ◇14:45～ 見本市 ◇16:00～ 交流会

＜目的＞・学校外の様々な社会資源を活用した教育プログラム紹介の見本市に参加することにより、各学校のニーズにあったプログラムを持ち帰り、子どもたちの学びの充実を図る。

・地域の方々や教育支援団体（教育プログラムを提供する企業や団体等）との情報交換を通して、教育環境の整備に向けたネットワークを構築する。

＜主な内容＞

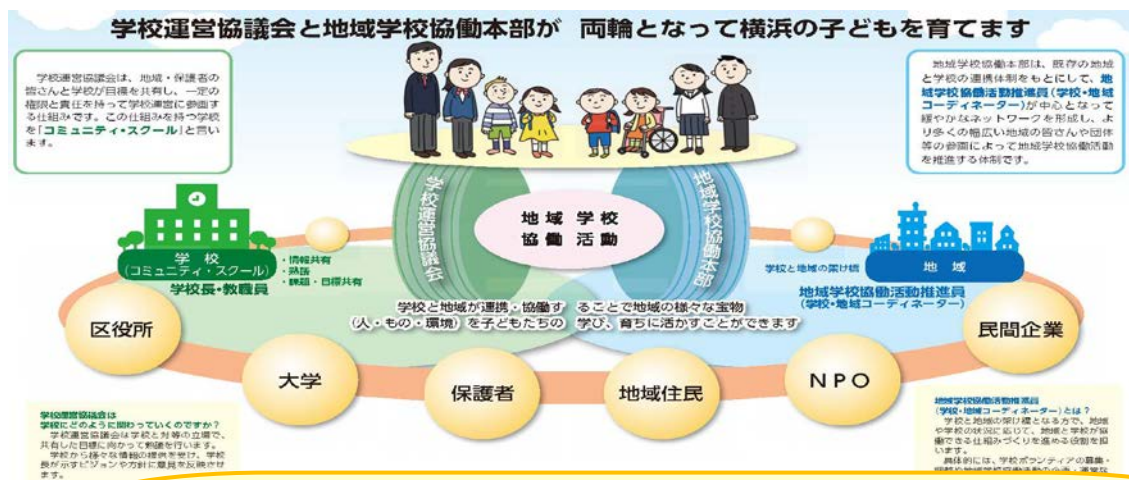
○教育支援団体の出展形式による見本市

○教職員、地域の方々、教育支援団体等による交流会



令和元年7月上旬に
学校便利帳で募集
案内発出予定

地域と学校の連携・協働推進リーフレットの発行



地域と学校の連携・協働の推進に向けて、リーフレット「地域とともに子どもを育む学校づくり」を発行しました。4/12(金)のカリキュラム・マネジメント推進協議会において、各校に3部配布しておりますので、ご活用ください。

※「横浜市 学校・地域連携推進」を検索していただくと、横浜市HPよりダウンロードできます。

☆教職員の方々だけでなく、学校・地域コーディネーターや地域協力者の方々にも、ぜひ周知をお願いします！！